



結城フォトクラブ提供

未来に残したい街の記憶

上の写真は、昭和初期に大町のまちなかで行われた「夏祭り」の様子です。道狭しと人が溢れかえり、当時の賑わいを伝えています。

まちなかに佇む建物。さあ、あなたの心には何が思い浮かびましたか？

建物にとっていちばん幸福な姿とは、建物がその場所に存在し、人や土地の記憶の中で生き続けることだと言われます。しかし、時が経てば、思い出の建物、風景の一部であった建物は、大小無数のカケラを残して姿を消していきます。

カケラは、街の風景と人々の息遣いの中で時を重ねてきました。カケラは、職人の手のぬくもりやこだわり、人々の思いや感情、記憶の断片なのです。

小さな破片となっても、建物の想いを伝え、過ぎ去った時間を教えてくれるカケラたち…。 まちなかで、あなたはどんなカケラ（街の記憶）と出会うのでしょうか？

あれから . . .

開設5年記念講演会開催

結城市民活動支援センター



街の中には、多くの魅力的な地域資源が点在しています。

後世に残してゆきたい資源とは何でしょうか。

街の魅力や特徴に目を向け、まちづくりにどのように活かしていけるかについて学びました。

◆平成29年10月14日(土)

◆結城市民情報センター3階多目的ホール

【第1部】『講演:カケラで紡ぐ,街の記憶』

講師: 一木 努 氏

何を記憶として残すのか、どういう形で記憶を掘り起こすのかとても参考になった。

60 歳男

結城の再発見ができた。
楽な気分で聴けました。

50 歳男

結城の歴史的偉業に驚いたとともに、大切にしていける必要性を痛感した。

60 歳男

講演を聞いて、結城の街並みの価値を再評価できました。

40 歳男



シアターを思わせる憎い演出

カケラという切り口は面白かった。単なる古い写真より導くものがある。目からウロコ!!

50 歳男

まちの中の風景も見方によって違った風景に。良くするも寂れさせるのも市民と気づいた。

50 歳男

今日から結城のまちを歩くのが楽しみになりました。

60 歳女

日々流していた結城市の風景がとても新鮮に感じた。とてもワクワクした。

40 歳女



【第2部】パネルディスカッション 『街に残る建物の活かし方』

街中の古い建物をリノベーションして独自のまちづくりに取り組んでいる**飯野さん(結城:結いプロ)**、**大波さん(栃木:まちなかプロジェクト)**、**箕田さん(益子:ヒジノワ)**をパネリストに招き、事例紹介を行った後に、古い建造物を地域資源として活用する事について活発なディスカッションが行われました。

ファシリテーターの**野口さん(結城:結いプロ)**からは、「何のために古い建物を使ったのか?」「後世に残していきたい資源は?」「景観をどう活かしてい

きたいのか。」等、参加者の関心が高い質問を投げかけていました。

【参加者の声】

20 歳男:それぞれの地域の建物の活かし方が、それぞれあって、街の記憶がこれからも残っていくのだと思った。

50 歳男:栃木の高校生の活動、益子の地元の記憶の掘り起こし等、住民の活用は大事な取り組みだと思った。

60 歳男:町おこしに努力する若い人たちの熱意を感じた。

50 歳男:古い建物をリノベーションしただけではなく、記憶や風土・歴史に根ざした活動が必要と感じた。

60 歳男:それぞれの方の活動を聞いて、これからの自分の生き方・活動の参考にしたい。

50 歳男:若い世代が大変頑張っている様子が伝わった。自分に協力できることがあれば支援していきたい。

60 歳女:地域の発展のために若い人たちが頑張っているのは素晴らしい。活気ある街・元気ある街づくりを!

60 歳女:クリエイターの助言から、地域住民の意識を高め繋がって、カラーの出し方がそれぞれ興味深い。



地域を超えた市民活動交流コーナー



耳寄りな情報

「一木先生のお仕事」
コーナー展示しています。

一木先生の活動をまとめた資料に目を通すと、なぜか笑顔になる不思議な世界観があります。目の付け所が違うんですね～え。

駅前分庁舎 3階 市民活動支援センター特設コーナーにお立ち寄りください。

展示期間: ~12月28日(木)まで



★★★ センター登録団体等活動紹介 ★★★

新規登録団体：地理を学ぶ会 NO. 52

地理とは、地球上における山川、水陸、気候、生物、人口、都市、産業、交通、政治などの状態をいいます。

以上のような状態を地域に関連して、調査、研究、現地探索等実施し、会員相互で情報交換をしながら学び合って、郷土の歴史や文化を掘り下げて学び、郷土に誇りを持ち、会員個々がそれらの情報発信をして、まちづくりの推進や活性化に貢献することをねらっています。

会員15名 問代表 河端

新規登録団体：しーびーのかい NO. 53

市民が集う有形・無形の「居場所」を創出し高齢者・若者・子どもたちが交わることで、地域活性化・世代間の活発な交流を図り持続性ある「生き生き」とした社会を構築する活動の一翼を担っていきたくと考えてます。

主な活動として、運用されている施設の更なる発展的な活用を図りながら、構築したネットワークにより、会員間の活発なコミュニケーションを図っていきます。

会員14名 問事務局 河端

◇◆◇センターからのお知らせ◆◆◇

★ひとあし早いクリスマス★〔ゆうき子育て支援隊〕

12月2日(土)10時～12時 駅前分庁舎多目的ホール

出かけてみよう！
参加してみよう！

結城市民劇団（つむぎ）第11回公演 = 御手杵の舞 =

12月9日(土)10:30～ 結城市民文化センターアクロス



男女共同参画推進セミナー開催！

【近現代女性史】

わたしも、あなたも、おなじ人間
～社会の壁を切り開いていった女性たち～

▼日時：11月25日(土)13:30～15:30

▼会場：駅前分庁舎「多目的ホール」
(しるくろーど3階)

▼内容：近現代において仕事と家庭で奮闘した女性たちとその周囲の人々の生活を学び、自身のワークライフバランスに活かしてみませんか？

▼講師：山村淑子氏(地域女性史研究会事務局長)

問結城市民活動支援センター

Tel.0296-54-7008(9時～17時開館 月曜休館)

参加者大募集！初心者歓迎！

男の料理教室

「クリスマス料理を作ろう！！」

大切な人のために料理を作る楽しさや、作った料理と一緒に食べる喜びを感じてみませんか？

今回はクリスマス料理を作ります♪

料理初心者の方でも歓迎です！

▼日時：12月17日(日)9:30～14:00

▼会場：健康増進センター「調理室」

▼内容：クリスマス料理4品程度(デザート含)、食事会場飾りつけ、後片付け

▼参加費：300円(2食分作ります。)

問結城市民活動支援センター

Tel.0296-54-7008(9時～17時開館 月曜休館)

10月末現在
来館者数13,103人



結城市民活動支援センター(駅前分庁舎しるくろーど3階)
☎54-7008 FAX54-7009 (machidukuri@city.yuki.lg.jp)